

第2節 予防対策

1 感染症予防

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症に対する正しい知識の普及啓発を行うとともに感染症の発生予防やまん延防止のため、感染症の発生情報を提供している。また、感染症の診断を行った医師からの届出を受けて、患者・家族等に対する積極的疫学調査を行い、接触者の健康診断及び保健指導を実施し、感染拡大の防止に努めている。

(1) 1～3類感染症及び新型インフルエンザ等感染症の発生状況

① 年度別発生状況

(単位：件)

分類	疾患名	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
1類	エボラ出血熱、ペスト等	患者等	-	-	-	-	-
2類	急性灰白髄炎	患者等	-	-	-	-	-
	ジフテリア	患者等	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	患者等	-	-	-	-	-
	結核	患者等	47	44	36	39	47
	2類感染症 小計		47	44	36	39	47
3類	腸管出血性大腸菌感染症	患者	18	10	4	3	6
		無症状病原体保有者	3	3	1	4	4
	コレラ	患者等	-	-	-	-	-
		無症状病原体保有者	-	-	-	-	-
	細菌性赤痢	患者	-	-	-	-	-
		無症状病原体保有者	-	-	-	-	-
	腸チフス	患者	-	-	-	-	-
		無症状病原体保有者	-	-	-	-	-
	パラチフス	患者	-	-	-	-	-
		無症状病原体保有者	-	-	-	-	-
	3類感染症 小計		21	13	5	7	10

また、感染症法第13条に基づく獣医師による発生届として、細菌性赤痢（カニクイザル）の発生届を9月に1件受理している。

② 月別発生状況

(単位：件)

分類	疾患名	令和7年										令和8年			計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1類	エボラ出血熱、ペスト等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2類	結核	3	2	2	5	4	1	3	5	2	7	4	9	47	
	急性灰白髄炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ジフテリア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3類	腸管出血性大腸菌感染症	-	-	-	1	-	3	4	-	-	1	-	1	10	
	コレラ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	細菌性赤痢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	腸チフス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	パラチフス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(2) 集団感染（疑）事例の発生・対応状況

(単位：件)

感染症の種類	病原体の種類	施設の種別				発生件数
		医療機関	高齢・障がい福祉施設	保育園	その他	
感染性胃腸炎	ノロウイルス	1	-	4	-	5
	アデノウイルス	-	-	1	-	1
	その他・不明	-	1	14	-	15
インフルエンザ	インフルエンザウイルス	1	2	-	-	3
新型コロナウイルス感染症 (クラスター)	新型コロナウイルス	11	13	-	-	24

(3) 感染症予防啓発（健康教育・研修会など）

① 感染症対策従事者研修会

1) 学校・社会福祉施設対象

テーマ	① 集団生活における感染症対策の基礎～感染症危機管理～ ② 集団生活における感染症対策～感染症危機管理～
日 時	① 令和7年6月30日 10:00～11:30（一般職員対象） ② 令和7年11月17日 14:00～15:30（管理者対象）
対象者	市内の保育・教育・福祉等関係者
講 師	保健所保健予防課職員
参加者数	① 現地 41 人、オンライン 30 施設 ② 現地 20 人、オンライン 20 施設

2) 医療従事者対象

テーマ	結核の診断・治療について ～「咳嗽・喀痰の診療ガイドライン第2版 2025」の簡単な解説を含む～
日 時	令和7年8月21日 15:00～16:30
対象者	市内の医療機関従事者
講 師	公益財団法人 結核予防会 結核研究所 対策支援部 企画・医学科長 平尾 晋 氏
参加者数	32 人

当課で企画している研修会以外にも、団体・施設から依頼のあった研修会に講師として出動している。

② 感染症対策実務担当者連絡会議

1) 医療機関

内 容	① 情報提供「感染症の発生動向について」「院内感染対策支援事業について」 グループワーク「麻しん対策について」 ② 情報提供「感染症の発生動向について」「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症 予防指針について」「令和7年度情報伝達訓練実施結果について」 グループワーク「薬剤耐性菌アウトブレイク対応について」
日 時	① 令和7年6月16日 14:00～15:30 ② 令和8年2月3日 14:00～15:30
対象者	市内病院の感染管理認定看護師・感染症対策担当者、大津市訪問看護ステーション連絡協議会
参加者数	① 17 人 ② 12 人

2) 庁内関係機関

内 容	・情報提供「感染症の発生動向について」 ・情報交換「感染症集団発生時の連携について」「各課の感染症対策の取組みについて」
日 時	令和7年5月19日 10:30～11:50
対象者	庁内関係課
参加者数	5 人

3) 高齢・障害福祉施設対象

内 容	講義「社会福祉施設における感染症対策 ～平時からの対策で感染症発生に備える～」 デモンストレーション「①個人防護具の着脱、②手指衛生実技 PPE 着脱」 講師：地方独立行政法人市立大津市民病院 感染管理認定看護師 松下 弘美氏
日 時	令和7年8月5日 14:00～16:00
対象者	市内の高齢者及び障がい者施設の従事者
参加者数	現地 28 人、オンライン 33 施設

(4) 高病原性鳥インフルエンザ対応研修

「高病原性鳥インフルエンザ人の健康観察実施マニュアル」に基づき、保健所職員を対象に研修を実施している。また、県内及び市内における高病原性鳥インフルエンザの発生を想定した訓練・研修にも参加している。

開催日	参加者（人）	内容
令和7年 11月21日	保健所職員 39人	講義「高病原性鳥インフルエンザ等及び危機管理体制について」 「高病原性鳥インフルエンザ発生時の保健所の役割について」 「養鶏場等における高病原性鳥インフルエンザ発生時の従事者の業務について」 実習「防護服着脱」「N95 マスクフィッティングテスト」

2 結核予防

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、結核患者発生時対策、療養支援、接触者健康診断、登録患者の管理等を行い、結核の発生予防及び患者の早期発見から感染拡大防止を図っている。

(1) 感染症法第 37 条の規定による結核医療費の被保険者等別公費負担の状況

(単位：件)

区 分	被用者保険		国民健康保険			後期高齢者 医療保険	生活 保護法	その他	合計
	本人	家族	一般	本人	家族				
前 年 末 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新規承認数	1	2	1	-	-	5	1	-	10
解 除 数	1	1	1	-	-	4	-	-	7
本 年 末	-	1	-	-	-	1	1	-	3

※入院勧告を実施した場合における当該患者が感染症指定医療機関において受ける医療に要する費用を公費負担するもの（令和 7 年 1 月～令和 7 年 12 月末）。

(2) 感染症法第 37 条の 2 の規定による結核医療費の被保険者別公費負担の状況

(延件数)

区 分	被用者保険		国民健康保険			後期高齢者 医療保険	生活 保護法	その他	無保険	合計
	本 人	家 族	一般	本人	家族					
申 請	7	2	10	-	-	12	-	-	-	31
承 認	7	2	10	-	-	12	-	-	-	31
不承認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※結核患者が結核指定医療機関において厚生労働省で定める医療を受けるために必要な費用の 95%に相当する額を公費負担するもの（令和 7 年 1 月～令和 7 年 12 月末）。

(3) 結核新登録状況

新登録患者状況（年齢階級別）

(単位：人)

年齢 区分	新登録患者		活動性結核							潜在性結核 感染症 (別掲)
			活動性肺結核						肺外 結核	
	患者数	罹患率 (人口 10 万対)	総数	喀痰塗抹陽性			その他の 結 核 菌 陽 性	菌陰性 ・ その他		
				初回 治療	再治療	計				
0～4 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
5～9 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29 歳	4	12.2	4	1	-	1	3	-	-	-
30～39 歳	2	5.6	2	1	-	1	1	-	-	-
40～49 歳	1	4.4	1		-	-	1	-	-	-
50～59 歳	2	3.8	2	2	-	2	-	-	-	1
60～69 歳	2	4.7	-	-	-	-	-	-	2	1
70 歳以上	11	14.4	5	4	-	4	1	-	6	3
合計	22	6.4	14	8	-	8	6	-	8	6

(令和 7 年 1 月～令和 7 年 12 月末)

(4) 結核登録者状況

登録者状況（年齢階級別）

（単位：人）

区 分	登 録 患 者		活 動 性 結 核								有病率 (人口 10 万対)	不活動性 結 核	不明	潜在性 結核 感染症 (別掲)
			活 動 性 結 核 総 数	活 動 性 肺 結 核						肺 外 結 核				
	肺 結 核 総 数	登録時喀痰塗抹 陽性			登録時その 他の結核 菌陽性	そ の 他								
		初 回 治 療		再 治 療			計							
0～4 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
5～9 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19 歳	1	6.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
20～29 歳	9	27.3	2	2	1	-	1	1	-	-	6.1	6	1	-
30～39 歳	5	14.2	2	2	1	-	1	1	-	-	5.7	2	1	2
40～49 歳	4	9.1	1	1	-	-	-	1	-	-	2.8	2	1	-
50～59 歳	5	9.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1
60～69 歳	8	18.8	2	-	-	-	-	-	-	2	4.7	6	-	2
70 歳以上	26	33.9	7	4	3	-	3	1	-	3	9.1	17	2	3
合計	58	16.9	14	9	5	-	5	4	-	5	4.1	38	6	9

（令和 7 年 12 月末現在）

(5) 結核登録除外状況（令和 7 年 1 月～令和 7 年 12 月末）

（単位：件）

区 分	死 亡		観察不要	転 出	転 症	計
	結 核	その他				
大津市	1	6	23	4	1	35

(6) 結核患者保健指導（令和 7 年 1 月～令和 7 年 12 月末）

新規登録患者に対しては、積極的疫学調査及び服薬支援等を目的に全数実施している。（LTBI 含む）

対象者（新規登録者） 28 人

実施方法及び件数 訪問 21 件、来所 6 件、電話 0 件、転入 1 件

(7) DOTS（直接服薬確認療法）事業（令和 7 年度）

大津市結核患者療養支援事業実施要領を策定し、服薬継続のためのアセスメント票に基づき、訪問・電話等により継続的な服薬支援を実施している。（転出、死亡、LTBI 含む）

対象者 52 人

実施方法及び件数（延べ） 訪問 170 件、電話 238 件、来所 16 件、メール 35 件、
薬局 DOTS 0 件

(8) 接触者健康診断（令和 7 年度）

結核患者の発生届を受理し、積極的疫学調査の結果、結核に感染していると疑われる者について感染症法第 17 条により、二次感染による患者の発生予防及び早期発見のため健康診断を実施している。

対象者数（実人数）137 人

（延べ） 219 人、受診者総数 219 人、受診率 100%

区 分		保健所 実施分	医療機関 委託分	その他（職場検診等）
受診者数（延べ人数）		214	5	-
（※） 内 訳	胸部エックス線検査	4	1	-
	ツベルクリン反応検査	-	-	-
	IGRA 検査	210	4	-

単位：件

※検査項目の

重複実施あり

健診結果 異常なし 133 人、潜在性結核感染症 2 人、肺結核 1 人、経過観察 1 人

3 特定感染症

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」及び「特定感染症検査等事業実施要綱」に基づき、正しい知識の普及啓発を行うとともに、早期発見及びまん延防止のため、梅毒検査、HTLV-1検査、HIV抗原・抗体検査、肝炎ウイルス検査（B型・C型）を実施している。

（１）相談数

（単位：件）

区 分			来所（検査時も含む）	電話	合計
梅毒	男		200	-	200
	女		60	-	60
H I V	男		196	-	196
	女		60	-	60
	相談内容延件数		708	-	708
	相 談 内 容	症状について	152	-	152
		検査について	145	-	145
		感染経路	158	-	158
		予防方法	164	-	164
		患者発生状況	62	-	62
		その他	27	-	27
H B V	男		197	-	197
	女		59	-	59
H C V	男		195	-	195
	女		59	-	59
H T L V-1	男		29	-	29
	女		8	-	8

（２）特定感染症検査実施状況

検査日時

毎月第２・４水曜日 13:15～14:15 計 22 回

梅毒、HIV抗原・抗体検査、B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査

毎月第２・４水曜日 14:00～14:30 計 22 回

HTLV-1 検査

検査受検者数

（単位：人）

区 分		19 歳以下	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50 歳以上	合計
梅毒	男	1	27	40	24	29	121
	女	-	17	8	6	5	36
HIV	男	1	27	38	26	29	121
	女	-	18	8	6	5	37
HBV	男	1	26	39	25	28	119
	女	-	18	8	6	4	36
HCV	男	1	26	39	25	28	119
	女	-	18	7	6	4	35
HTLV-1	男	-	1	4	-	-	5
	女	-	-	-	-	-	-

（３）HIV普及啓発事業

HIV・エイズに関する正しい知識の普及を目的に市内の大学や関係機関との連携により啓発活動を行っている。

○HIV検査普及週間関連イベント（令和7年6月1日～6月7日）

学校（13 か所）、支所（36 か所）、商業施設（13 か所）、市内企業（9 か所）、大津市生涯学習センターでのポスター掲示

保健所、すこやか相談所でのポスター掲示及びのぼり設置

市内映画館、市立図書館及び商業施設（4 か所）でのポスター掲示及び啓発資材（付箋）設置

市内大学（4 か所）でのポスター掲示と啓発資材（生理用品・コンドーム）設置

大津市広報での啓発

○世界エイズデー関連イベント（令和7年11月17日～12月27日）

市内学校（13 か所）、病院（15 か所）、企業（9 か所）、支所（36 か所）、商業施設（13 か所）及び大津市生涯学習センターでのポスター掲示

市内大学（4 か所）でのポスター掲示と啓発資材（生理用品・コンドーム）設置

大津市立図書館にて啓発展示ブースの設置（ポスター掲示、啓発資材（付箋）設置）

保健所、すこやか相談所でのポスター掲示とのぼり設置

市内映画館や商業施設（4 か所）でのポスター掲示及び啓発資材（付箋）の設置

大津市ホームページと広報での啓発

（4）肝炎治療特別促進事業申請受付

滋賀県からの委託を受けて、肝炎治療特別促進事業（インターフェロン治療・インターフェロンフリー治療・核酸アナログ製剤治療に係る医療費を助成し、患者の治療へのアクセスを改善することにより、肝硬変・肝がんの予防を図ることを目的とする。）の申請受付を行っている。

申請受付状況

（単位：件）

種別・性別		年齢	～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計
B型肝炎 インターフェロン治療	男		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計		-	-	-	-	-	-	-	-	-
C型肝炎 インターフェロン治療	男		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計		-	-	-	-	-	-	-	-	-
インターフェロン治療 計	男		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計		-	-	-	-	-	-	-	-	-
インターフェロンフリー治療	男		-	-	-	3	4	2	3	-	12
	女		-	-	1	-	-	3	1	-	5
	計		-	-	1	3	4	5	4	-	17
核酸アナログ製剤治療	男		-	3	4	14	41	29	38	13	142
	女		-	-	1	7	19	28	20	6	81
	計		-	3	5	21	60	57	58	19	223
合計	男		-	3	4	17	45	31	41	13	154
	女		-	-	2	7	19	31	21	6	86
	計		-	3	6	24	64	62	62	19	240

(5) 肝炎重症化予防推進事業申請受付

滋賀県からの委託を受けて、ウイルス性肝炎患者等の重症化予防推進事業に係る初回精密検査及び定期精密検査の費用助成の申請受付を行っている。また、申請者には平成 29 年度から定期検査の受診状況や体調等を確認するフォローアップを実施している。

申請受付状況

(単位：件)

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
初回精密検査	1	5	1	－	2
定期検査	19	4	12	10	6

(6) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

滋賀県からの委託を受けて、肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業（B 型・C 型肝炎ウイルスに起因する肝がん又は重度肝硬変により、指定医療機関に通院若しくは入院している患者のうち、世帯の所得基準を満たし、一定の期間に、一定の医療費が現出している者に、医療費助成等を行い、治療研究を図ることを目的とする。）の申請受付を行っている。

申請受付状況

(単位：件)

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
申請数	4	11	18	11

(7) 風しん抗体価検査

先天性風しん症候群の予防のため、予防接種が必要である風しん感受性者を効率的に抽出し予防接種の勧奨を行うことを目的に、平成 26 年度から無料で実施している。

風しん抗体検査実施状況（令和 7 年度）

(単位：人)

	19 歳以下	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	合計
男	－	66	91	13	4	2	176
女	1	130	131	16	5	3	286
合計	1	196	222	29	9	5	462

4 予防接種

疾病の予防に有効であることが確認されているワクチンを接種することで、公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的として、予防接種法第5条に基づき各種予防接種を実施している。

平成25年度からヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がん予防ワクチンが、平成26年10月から水痘、高齢者肺炎球菌が、平成28年10月からB型肝炎が、令和2年10月からロタウイルス感染症が、令和6年4月から五種混合が、同年10月から高齢者新型コロナウイルス感染症が、令和7年4月から带状疱疹が定期予防接種に追加された。

(1) 定期接種予防接種者数

① ポリオ (単位：件)

年度	I 期初回			I 期追加
	1 回目	2 回目	3 回目	
令和6	-	-	-	-
令和7	-	-	-	123

② 四種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ） (単位：件)

年度	I 期初回			I 期追加
	1 回目	2 回目	3 回目	
令和6	38	278	515	2,456
令和7	1	2	2	603

③ 三種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風） (単位：件)

年度	I 期初回			I 期追加
	1 回目	2 回目	3 回目	
令和6	-	-	1	-
令和7	1	1	1	123

※四種混合ワクチンへの切り替えに伴い、平成26年12月三種混合ワクチンの製造が中止されたが、平成30年1月に製造が再開された。

④ BCG (単位：件・%)

年度	対象者	接種者	接種率
令和6	2,248	2,264	100.7
令和7	2,239	2,173	97.1

⑤ 日本脳炎 (単位：件)

年度	I 期初回（初回接種）		I 期（追加接種）	II 期（追加接種）
	1 回目	2 回目		
令和6	2,534	2,538	2,517	3,195
令和7	2,445	2,357	2,458	2,888

※1. 平成17年5月30日から平成22年3月末まで、接種勧奨を差し控えた。

※2. 平成22年度から、3歳児の接種勧奨を再開。

※3. 平成23年5月20日から、平成7年6月1日から平成19年4月1日までに生まれた者が特例対象者に位置づけられた。

※4. 平成25年度から、平成7年4月2日から平成7年5月31日までに生まれた者も特例対象者に追加された。

⑥ 二種混合（ジフテリア・破傷風） (単位：件・%)

年度	対象者	接種者	接種率
令和6	3,193	2,861	89.6
令和7	3,249	2,801	86.2

⑦ 麻しん・風しん

(単位：件・％)

年度	第 1 期			第 2 期				
	対象者	接種者		接種率	対象者	接種者		接種率
令和 6	2, 470	麻風混合	2, 333	94. 5	2, 937	麻風混合	2, 739	93. 3
		麻しん	－			麻しん	－	
		風しん	－			風しん	－	
令和 7	2, 320	麻風混合	2, 229	96. 1	2, 739	麻風混合	2, 617	95. 5
		麻しん	－			麻しん	－	
		風しん	－			風しん	－	

⑧ 水痘

(単位：件)

年度	1 回目	2 回目
令和 6	2, 352	2, 260
令和 7	2, 218	2, 089

⑨ ヒブ

(単位：件)

年度	初回接種者			I 期追加
	1 回目	2 回目	3 回目	
令和 6	30	269	503	2, 024
令和 7	-	-	1	103

⑩ 小児用肺炎球菌

(単位：件)

年度	初回接種者			I 期追加
	1 回目	2 回目	3 回目	
令和 6	2, 144	2, 198	2, 248	2, 361
令和 7	2, 236	2, 219	2, 199	2, 184

⑪ HPV（ヒトパピローマウイルス感染症）

(単位：件)

年度	接種者		
	1 回目	2 回目	3 回目
令和 6	4, 768	4, 181	3, 196
令和 7	1, 130	1, 588	1, 116

※平成 25 年 6 月から接種勧奨を差し控えた。

※令和 3 年 11 月から接種勧奨を再開した。

※令和 4 年 4 月から令和 7 年 3 月 31 日までキャッチアップ接種を実施した。

※令和 5 年 4 月から 9 価ワクチンの定期接種を開始した。

※令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までキャッチアップ接種の経過措置期間が設けられた。

⑫ B型肝炎

(単位：件・％)

年度	対象者	接種者			接種率		
		1 回目	2 回目	3 回目	1 回目	2 回目	3 回目
令和 6	2, 248	2, 141	2, 197	2, 210	95. 2	97. 7	98. 3
令和 7	2, 239	2, 227	2, 216	2, 140	99. 5	99. 0	95. 6

※平成 28 年 10 月から定期接種化された。

⑬ ロタウイルス感染症

(単位：件)

年度	対象者	ワクチン	接種者		
			1 回目	2 回目	3 回目
令和 6	2, 248	1 価	1, 090	1, 132	1, 053
		5 価	1, 018	1, 032	
令和 7	2, 239	1 価	1, 109	1, 088	1, 094
		5 価	1, 102	1, 097	

※令和 2 年 10 月から定期接種化された。

※ワクチンが 2 種類（1 価・5 価）あり、1 価は 2 回接種、5 価は 3 回接種。

⑭ 五種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ・ヒブ）（単位：件）

年度	Ⅰ期初回			Ⅰ期追加
	1回目	2回目	3回目	
令和6	2,116	1,934	1,752	203
令和7	2,242	2,226	2,200	2,025

※令和6年4月から定期接種化された。

⑮ 高齢者インフルエンザ（単位：件・％）

年度	対象者	接種者	接種率
令和6	95,775	48,986	51.1
令和7	96,628	50,283	52.0

⑯ 高齢者肺炎球菌（単位：件・％）

年度	対象者	接種者	接種率
令和6	4,050	777	19.2
令和7	4,080	1,770	43.4

※平成26年10月から定期接種化された。令和5年度までは、経過措置として、各年度内に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる者を対象として実施した。

⑰ 高齢者新型コロナウイルス感染症（単位：件・％）

年度	対象者	接種者	接種率
令和6	95,775	18,009	18.8
令和7	96,628	9,069	9.4

※令和6年10月から定期接種化された。

⑱ 帯状疱疹（単位：件）

年度	対象者	ワクチン	接種者	
			1回目	2回目
令和7	21,091	生	1,827	
		組換え	5,090	4,843

※令和7年4月から定期接種化された。

（接種率の記載について）

※ポリオ、三種混合：五種混合へ移行しているため、記載していない。

※四種混合、日本脳炎、水痘、HPV、五種混合：接種回数が複数回であり、接種時期が複数年度に渡ることから、当該年度における接種対象者の抽出が困難であり、記載していない。

※ヒブ、小児用肺炎球菌：接種開始時期によって接種回数が異なるため、記載していない。

※ロタ、帯状疱疹：接種するワクチンによって接種回数が異なるため、記載していない。

（2）風しん任意予防接種費用助成

平成25年から、全国的に風しんが流行したため、先天性風しん症候群の予防を目的として、風しん抗体価が低い妊娠希望の女性等に費用助成を実施している。

助成件数（単位：件）

年度	助成件数
令和6	220
令和7	238

(3) 追加的風しん対策事業（第5期の定期接種）

令和元年度から実施してきた追加的風しん対策事業（抗体検査）の検査結果にて、十分な量の抗体があることが判明した者を除いて、風しんの第5期の定期接種を行った。令和7年3月31日をもって事業終了予定であったが、麻しん・風しんワクチンの偏在等が生じたことを理由に接種ができなかったと認める者を対象に、令和9年3月31日まで経過措置として定期接種を実施している。

予防接種実施状況

（単位：人）

年度	対象者	接種者
令和3	1,022	834
令和4	207	176
令和5	185	162
令和6	304	263
令和7	70	-

(4) 造血幹細胞移植後のワクチン再接種費用助成

令和4年度から造血幹細胞移植（骨髄移植、末梢血幹細胞移植又は臍帯血移植）前に接種した定期予防接種の再接種費用の助成を行っている。

助成件数 （単位：人）

年度	助成件数
令和6	4
令和7	5

5 特定医療費（指定難病）

当該事業は、滋賀県が主体として実施する特定医療費（指定難病）支給認定事業であり、これに係る受給者証の申請受付事務を県からの委託により本市が実施している。

平成 27 年 1 月に「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行され、従来の特定疾患の多くが当該事業に移行されたところである。令和 4 年度から、更新申請受付事務は滋賀県が行っている。

（１）特定医療費（特定疾患含む）医療受給者証申請受付数

（単位：件）

新規申請数	更新申請数
598	令和 4 年度から更新受付事務は滋賀県

（２）特定医療費（指定難病）医療受給者証交付件数（令和 8 年 3 月 31 日現在）

（単位：件）

（単位：件）

番号	病 名	交付者数
1	球脊髄性筋萎縮症	8
2	筋萎縮性側索硬化症	37
3	脊髄性筋萎縮症	4
4	原発性側索硬化症	1
5	進行性核上性麻痺	48
6	パーキンソン病	555
7	大脳皮質基底核変性症	19
8	ハンチントン病	2
9	神経有棘赤血球症	-
10	シャルコー・マリー・トゥース病	6
11	重症筋無力症	101
12	先天性筋無力症候群	-
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	73
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多 巣性運動ニューロパチー	21
15	封入体筋炎	4
16	クロウ・深瀬症候群	1
17	多系統萎縮症	28
18	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）	70
19	ライソゾーム病	2
20	副腎白質ジストロフィー	-
21	ミトコンドリア病	3
22	もやもや病	46
23	ブリオン病	1
24	亜急性硬化性全脳炎	-
25	進行性多巣性白質脳症	1
26	HTLV-1 関連脊髄症	1
27	特発性基底核石灰化症	-
28	全身性アミロイドーシス	36
29	ウルリッヒ病	-
30	遠位型ミオパチー	1
31	ベスレムミオパチー	-
32	自己貪食空胞性ミオパチー	-

（単位：件）

番号	病 名	交付者数
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	-
34	神経線維腫症	9
35	天疱瘡	9
36	表皮水疱症	-
37	膿疱性乾癬（汎発型）	12
38	スティーヴンス・ジョンソン症候 群	1
39	中毒性表皮壊死症	-
40	高安動脈炎	9
41	巨細胞性動脈炎	22
42	結節性多発動脈炎	4
43	顕微鏡的多発血管炎	31
44	多発血管炎性肉芽腫症	6
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	34
46	悪性関節リウマチ	15
47	バージャー病	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	3
49	全身性エリテマトーデス	176
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	81
51	全身性強皮症	51
52	混合性結合組織病	19
53	シェーグレン症候群	44
54	成人スチル病	18
55	再発性多発軟骨炎	5
56	ベーチェット病	38
57	特発性拡張型心筋症	67
58	肥大型心筋症	11
59	拘束型心筋症	-
60	再生不良性貧血	28
61	自己免疫性溶血性貧血	6
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	6
63	特発性血小板減少性紫斑病	60
64	血栓性血小板減少性紫斑病	2

（単位：件）

番号	病 名	交付者数
65	原発性免疫不全症候群	9
66	IgA 腎症	77
67	多発性嚢胞腎	72
68	黄色靱帯骨化症	13
69	後縦靱帯骨化症	67
70	広範脊柱管狭窄症	21
71	特発性大腿骨頭壊死症	69
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	19
73	下垂体性 TSH 分泌亢進症	2
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	3
75	クッシング病	3
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	-
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	13
78	下垂体前葉機能低下症	64
79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	3
80	甲状腺ホルモン不応症	1
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	3
82	先天性副腎低形成症	-
83	アジソン病	-
84	サルコイドーシス	35
85	特発性間質性肺炎	51
86	肺動脈性肺高血圧症	17
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	-
88	慢性血栓性肺高血圧症	14
89	リンパ脈管筋腫症	2
90	網膜色素変性症	38
91	バッド・キアリ症候群	3
92	特発性門脈圧亢進症	-
93	原発性胆汁性胆管炎	48
94	原発性硬化性胆管炎	2
95	自己免疫性肝炎	23
96	クローン病	147
97	潰瘍性大腸炎	537
98	好酸球性消化管疾患	5
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	-
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	-
101	腸管神経節細胞僅少症	-
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	-
103	CFC 症候群	-
104	コステロ症候群	-
105	チャージ症候群	-
106	クリオピリン関連周期熱症候群	1

(単位：件)

番号	病 名	交付者数
107	全身型若年性特発性関節炎	2
108	TNF 受容体関連周期性症候群	-
109	非典型溶血性尿毒症症候群	-
110	ブラウ症候群	-
111	先天性ミオパチー	1
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	-
113	筋ジストロフィー	16
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	-
115	遺伝性周期性四肢麻痺	2
116	アトピー性脊髄炎	1
117	脊髄空洞症	2
118	脊髄髄膜瘤	1
119	アイザックス症候群	-
120	遺伝性ジストニア	-
121	神経フェリチン症	1
122	脳表ヘモジデリン沈着症	-
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	-
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	-
126	ペリー症候群	-
127	前頭側頭葉変性症	3
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	2
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	-
130	先天性無痛無汗症	-
131	アレキサンダー病	-
132	先天性核上性球麻痺	-
133	メビウス症候群	-
134	中隔視神経形成異常症／ドモルシア症候群	-
135	アイカルディ症候群	-
136	片側巨脳症	-
137	限局性皮質異形成	-
138	神経細胞移動異常症	-
139	先天性大脳白質形成不全症	2
140	ドラベ症候群	-
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	-
142	ミオクロニー欠伸てんかん	-
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	-
144	レノックス・ガストー症候群	1
145	ウエスト症候群	-
146	大田原症候群	1
147	早期ミオクロニー脳症	-
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	-

(単位：件)

番号	病 名	交付者数
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	-
150	環状 20 番染色体症候群	-
151	ラスムッセン脳炎	-
152	P C D H19 関連症候群	-
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	-
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	-
155	ランドウ・クレフナー症候群	-
156	レット症候群	-
157	スタージ・ウェーバー症候群	-
158	結節性硬化症	6
159	色素性乾皮症	-
160	先天性魚鱗癬	-
161	家族性良性慢性天疱瘡	1
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	21
163	特発性後天性全身性無汗症	2
164	眼皮膚白皮症	-
165	肥厚性皮膚骨膜症	1
166	弾性線維性仮性黄色腫	-
167	マルファン症候群	3
168	エーラス・ダンロス症候群	-
169	メンケス病	-
170	オクシピタル・ホーン症候群	-
171	ウィルソン病	3
172	低ホスファターゼ症	-
173	VATER 症候群	-
174	那須・ハコラ病	-
175	ウィーバー症候群	-
176	コフィン・ローリー症候群	-
177	有馬症候群	-
178	モワット・ウィルソン症候群	-
179	ウィリアムズ症候群	-
180	A T R - X 症候群	-
181	クルーズン症候群	-
182	アペール症候群	-
183	ファイファー症候群	-
184	アントレー・ビクスラー症候群	-
185	コフィン・シリス症候群	-
186	ロスムンド・トムソン症候群	-
187	歌舞伎症候群	-
188	多脾症候群	-
189	無脾症候群	-
190	鰓耳腎症候群	-

(単位：件)

番号	病 名	交付者数
191	ウェルナー症候群	-
192	コケイン症候群	-
193	ブラダー・ウィリ症候群	-
194	ソトス症候群	-
195	ヌーナン症候群	-
196	ヤング・シンプソン症候群	-
197	1 p36 欠失症候群	-
198	4 p 欠失症候群	-
199	5 p 欠失症候群	-
200	第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群	-
201	アンジェルマン症候群	-
202	スミス・マギニス症候群	-
203	22q11.2 欠失症候群	1
204	エマヌエル症候群	-
205	脆弱 X 症候群関連疾患	-
206	脆弱 X 症候群	-
207	総動脈幹遺残症	-
208	修正大血管転位症	2
209	完全大血管転位症	1
210	単心室症	-
211	左心低形成症候群	-
212	三尖弁閉鎖症	2
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	-
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	-
215	ファロー四徴症	2
216	両大血管右室起始症	1
217	エプスタイン病	-
218	アルポート症候群	2
219	ギャロウェイ・モワト症候群	-
220	急速進行性糸球体腎炎	7
221	抗糸球体基底膜腎炎	1
222	一次性ネフローゼ症候群	50
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2
224	紫斑病性腎炎	5
225	先天性腎性尿崩症	-
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	3
227	オスラー病	1
228	閉塞性細気管支炎	1
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	-
230	肺胞低換気症候群	-
231	α 1-アンチトリプシン欠乏症	-
232	カーニー複合	-

(単位：件)

番号	病 名	交付者数
233	ウォルフラム症候群	-
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	-
235	副甲状腺機能低下症	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	-
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	-
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	-
240	フェニルケトン尿症	-
241	高チロシン血症 1 型	-
242	高チロシン血症 2 型	-
243	高チロシン血症 3 型	-
244	メーブルシロップ尿症	-
245	プロピオン酸血症	-
246	メチルマロン酸血症	-
247	イソ吉草酸血症	-
248	グルコーストランスポーター1 欠損症	1
249	グルタル酸血症 1 型	-
250	グルタル酸血症 2 型	-
251	尿素サイクル異常症	1
252	リジン尿性蛋白不耐症	-
253	先天性葉酸吸収不全	-
254	ボルフィリン症	-
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	-
256	筋型糖原病	-
257	肝型糖原病	2
258	ガラクトースー1ーリン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	-
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	-
260	シトステロール血症	-
261	タンジール病	-
262	原発性高カイロミクロン血症	-
263	脳腱黄色腫症	-
264	無βリポタンパク血症	-
265	脂肪萎縮症	1
266	家族性地中海熱	3
267	高 I g D 症候群	-
268	中條・西村症候群	-
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	-
270	慢性再発性多発性骨髄炎	1
271	強直性脊椎炎	14
272	進行性骨化性線維異形成症	-

番号	病 名	交付者数
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	-
274	骨形成不全症	-
275	タナトフォリック骨異形成症	-
276	軟骨無形成症	1
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	-
278	巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）	-
279	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）	-
280	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	-
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
282	先天性赤血球形成異常性貧血	-
283	後天性赤芽球癆	2
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	-
285	ファンconi貧血	-
286	遺伝性鉄芽球性貧血	-
287	エプスタイン症候群	-
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	-
289	クロンカイト・カナダ症候群	1
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1
291	ヒルシュスブルング病（全結腸型又は小腸型）	-
292	総排泄腔外反症	-
293	総排泄腔遺残	-
294	先天性横隔膜ヘルニア	-
295	乳幼児肝巨大血管腫	-
296	胆道閉鎖症	2
297	アラジール症候群	-
298	遺伝性脾炎	-
299	嚢胞性線維症	-
300	I g G 4 関連疾患	16
301	黄斑ジストロフィー	-
302	レーベル遺伝性視神経症	-
303	アッシャー症候群	-
304	若年発症型両側性感音難聴	-
305	遅発性内リンパ水腫	1
306	好酸球性副鼻腔炎	239
307	カナバン病	-
308	進行性白質脳症	-
309	進行性ミオクロームスてんかん	-
310	先天異常症候群	-
311	先天性三尖弁狭窄症	-
312	先天性僧帽弁狭窄症	-

(単位：件)

番号	病 名	交付者数
313	先天性肺静脈狭窄症	-
314	左肺動脈右肺動脈起始症	-
315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）／LMX1B 関連腎症	-
316	カルニチン回路異常症	-
317	三頭酵素欠損症	-
318	シトリン欠損症	-
319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	-
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	-
321	非ケトーシス型高グリシン血症	-
322	β-ケトチオラーゼ欠損症	-
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	-
324	メチルグルタコン酸尿症	-
325	遺伝性自己炎症疾患	-
326	大理石骨病	-
327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	1
328	前眼部形成異常	1
329	無虹彩症	1
330	先天性気管狭窄症	1
331	特発性多中心性キャッスルマン病	7
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	-
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	-
334	脳クレアチン欠乏症候群	-
335	ネフロン癆	-
336	家族性低βリボタンパク血症 1（ホモ接合体）	-

(単位：件)

番号	病 名	交付者数
337	ホモシスチン尿症	-
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	1
339	MECP2 重複症候群	-
340	線毛機能不全症候群（カルタゲナー症候群を含む。）	-
341	TRPV4 異常症	-
342	LMNB1 関連大脳白質脳症	-
343	PURA 関連神経発達異常症	-
344	極長鎖アシル-CoA 脱水素酵素欠損症	-
345	乳児発症 STING 関連血管炎	-
346	原発性肝外門脈閉塞症	-
347	出血性線溶異常症	-
348	ロウ症候群	-
合計		3,656

(3) 特定疾患医療受給者証交付件数（令和8年3月31日現在）

(単位：件)

番号	病 名	交付者数
5	スモン	2
18	難治性肝炎のうち劇症肝炎	-
32	重症急性膵炎	-
54	重症多形滲出性紅斑	-
合 計		2

6 難病支援

難病支援対策推進事業

国の難病特別対策推進事業実施要綱に基づき、難病患者等に対し、総合的な相談・支援や在宅療養上の必要な支援を行うことにより安定した療養生活の確保と難病患者及びその家族の生活の質（ＱＯＬ）の向上に資することを目的として実施している。

（１）特定医療費（指定難病）申請時面接相談

（単位：件）

新規申請数	新規申請時面接相談	更新申請数	更新申請時面接相談
598	4	3,155	2

（２）難病患者訪問指導及び面接相談

（単位：件）

	訪問指導		面接相談	
	実人数（人）	延べ件数（件）	実人数（人）	延べ件数（件）
筋萎縮性側索硬化症	9	30	2	2
その他の難病	30	50	6	6
計	39	80	8	8

（３）医療講演会及び相談会

① 医療講演会（草津保健所と合同開催）

開催日・場所	大津管内参加人員	内 容
令和7年10月21日 大津市平野 コミュニティセンター	オンライン： 当事者5人 家族5人 従事者1人 会場： 当事者2人 家族8人 計21人	講演：脊髄小脳変性症・多系統萎縮症 ～日常生活でのリハビリテーションについて～ 講師：滋賀県立総合病院 リハビリテーション科 科長 中馬 孝容 医師

② パーキンソン病医療講演会・従事者研修会

開催日・場所	参加人員	内 容
令和7年11月27日 明日都浜大津4階 ふれあいプラザ ホール	当事者・家族 67人 その他 3人 従事者 7人 計 77人	講演：パーキンソン病の病気の理解と日常生活について 講師：滋賀医科大学内科学講座 脳神経内科 小橋 修平 医師

（４）難病従事者研修会

① 難病在宅支援従事者研修会

開催日・場所	参加人員	内 容
令和7年11月19日 大津市平野 コミュニティセンター	会場：29人 介護支援専門員 21人 看護師 3人 理学療法士 3人 介護士 2人 オンライン27人 介護支援専門員 24人 看護師 1人 プランナー 1人 支援相談員 1人 計 56人	講演：在宅支援の現場力とは何か ～進行性の神経難病患者への在宅支援を考える～ 講師：さくらクリニック 院長 櫻井 健世 医師

② 難病患者災害対策従事者研修会

開催日・場所	参加人員	内 容
令和 8 年 2 月 13 日 明日都浜大津 4 階 ふれあいプラザ ホール	会場：12 人 福祉関係 3 人 医療関係 1 人 行政関係 7 人 当事者家族 1 人 オンライン：24 人 福祉関係 20 人 医療関係 1 人 行政関係 2 人 当事者家族 1 人 アーカイブ配信：8 人 福祉関係 6 人 医療関係 2 人 計 44 人	講演：災害に備えた平時からの電源確保の取組について 講師：在宅医療災害対策アドバイザー 臨床工学技士（防災士） 井上 勝哉 氏

（５）ケース検討会

筋萎縮性側索硬化症等の神経難病を中心に、他機関で支援を必要とするケースに対して、地域の支援者と共に個々の患者の実情に応じた支援方法について検討した。年 10 回実施（ALS 5 回、その他難病 5 回）

（６）ケアマネジメント・アドバイザー事業

関係スタッフだけでは解決困難なケースの処遇等を助言者と共に検討する場を設け、より適切で円滑な療養支援を図ると共に患者・家族のＱＯＬの向上を図るために難病患者におけるケアマネジメント・アドバイザー事業を開催している。

実施日：令和 7 年 8 月 12 日、令和 8 年 1 月 16 日

アドバイザー：言語聴覚士、理学療法士

（７）在宅療養支援体制の整備に関する事業

難病対策地域協議会

開催日・場所	出席者	内 容
【難病対策地域協議会】 令和 8 年 2 月 5 日 ふれあいプラザ 5 階 大会議室	重症難病医療拠点・協力病院等関係機関 (委員 22 人参加)	・ 特定医療費（指定難病）医療費助成制度について ・ 難病患者地域支援対策推進事業について ・ 難病患者の相談・療養状況について ・ 難病患者在宅療養支援について ・ 難病患者の災害対策について ・ 相談窓口一覧の活用について

（８）各種関係団体への支援

① 全国パーキンソン病友の会滋賀県支部活動支援

パーキンソン病医療講演会の後に、友の会により交流会が開催された。

② ケアクラフト００２（自助具工房）活動支援

パーキンソン病医療講演会の場で、自助具の展示や紹介の機会を設けた。保健所内では継続して展示場所を提供している。

7 精神保健

精神保健福祉対策

地域における精神保健福祉活動を行う機関として、精神保健に課題を抱える人の精神的健康の保持増進、社会参画および社会復帰を支援するため、保健師、専門医、看護師、精神保健福祉士および心理職による相談・訪問指導、関係機関との定例事例検討会の開催、家族交流会の実施等の事業を行っている。

(1) 精神保健福祉相談、訪問等

精神疾患や精神障害等を持つ人およびその家族を対象に、当事者および家族等の不安を緩和し、QOLの向上を図ることを目的として、専門医や保健師による相談・訪問を実施している。

(単位：件)

区分	新規者（面談、訪問指導）の受付経路内訳			
	関係各課	医療機関	その他	新規合計
男	7	16	22	45
女	13	10	28	51
計	20	26	50	96

区分	面 談											
	実人員	延 人 員										
		高齢者	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康	一般	その他	計
男	99	2	-	21	3	13	-	18	13	208	37	315
女	86	2	-	2	1	-	-	42	31	257	50	385
計	185	4	-	23	4	13	-	60	44	465	87	700

区分	訪 問 指 導												電話相談 (含メール) 延人員
	実人員	延 人 員											
		高齢者	社会 復帰	アルコ ール	薬物	ギャン ブル	ゲーム	思春 期	心の 健康	一般	その他	計	
男	73	2	5	4	2	1	－	4	41	243	27	329	
女	70	7	－	1	－	－	－	20	28	168	38	262	
計	143	9	5	5	2	1	－	24	69	411	65	591	

① 一般精神保健福祉相談（医師によるもので、高齢者を含む）

実施状況 14回

A. 本人の年齢別、相談者の内訳（重複あり）

(単位：人)

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	不詳	合計
本人	-	-	1	-	1	3	-	5
家族	-	2	1	2	3	6	-	14
保健師、福祉	-	-	-	-	1	7	-	8
その他	-	-	-	-	-	1	-	1
合計	-	2	2	2	5	17	-	28

B. 本人の受療状況

(単位：人)

未受診	受療中	治療中断	合計
6	-	8	14

C. 本人の年齢別、診断名の内訳（重複あり）

（単位：人）

区分	～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳～	不詳	合計
統合失調症	-	1	-	1	2	3	-	7
神経症	-	-	1	-	-	-	-	1
アルコール依存症疑	-	-	-	-	1	-	-	1
高齢者精神病	-	-	-	-	-	-	-	-
パーソナリティー障害	-	-	-	-	-	-	-	-
妄想性障害	-	-	-	-	-	4	-	4
気分障害	-	-	-	-	-	1	-	1
心因反応	-	-	-	-	-	-	-	-
非定型精神病	-	-	-	-	-	-	-	-
認知症	-	-	-	-	-	1	-	1
発達障害	-	-	-	1	-	-	-	1
その他	-	1	-	1	-	-	-	2
合計	-	2	1	3	3	9	-	18

D. 相談医の指示の内訳（重複あり）

項目	件数
要医療、受診指導	10
主治医に相談	1
対応指導	4
その他	1
合計	16

② 思春期精神保健福祉相談（医師によるもの）

実施状況 9 回

A. 本人の年齢別、相談者の内訳（重複あり）

（単位：人）

区分	～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40 歳～	計
本人	-	2	1	-	3
家族	2	6	1	2	11
保健師、福祉	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-
計	2	8	2	2	14

B. 本人の受療状況

（単位：人）

未受診	治療中	治療中断	合計
8	-	1	9

C. 相談内容の内訳

項目	件数
ひきこもり	6
未就労	-
不登校・進路	2
暴力	-
強迫症状	-
パニック	-
その他	1
計	9

D. 相談医の指示の内容（重複あり）

項目	件数
要医療、受診指導	1
主治医に相談	-
対応指導	9
その他	-
合計	10

E. 本人の年齢別、診断名の内訳(重複あり)

(単位：人)

年齢	～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40 歳～	計
統合失調症疑	-	-	-	-	-
社会的ひきこもり	-	-	-	-	-
広汎性発達障害疑	1	4	1	1	7
強迫性障害	-	-	-	-	-
摂食障害	-	-	-	-	-
うつ状態	-	-	-	-	-
パーソナリティ障害	-	-	-	-	-
その他	1	1	-	-	2
計	2	5	1	1	9

③ ひきこもり心理相談

ひきこもりがちになっている状態で悩んでいる方及びその家族で、保健所の思春期精神保健福祉相談を担当した医師が、継続的な心理ケアが望ましいと判断した方に対して、月 1～2 回、定例で臨床心理士による面接を実施している。

実施状況 18 回 延べ 38 件 実人数 7 人

④ 定例ケース検討会開催状況

目 的 精神保健に課題を抱える方への個別支援を行うに際して、処遇困難ケースや多問題を抱えるケースの支援方針や方向性を検討する機会とする。

開催状況 5 回

助 言 者 精神保健福祉センター 地区担当医 精神保健福祉士 臨床心理士 保健師

(単位：件)

開催回数		5
検討延べ件数		6
相談 経 路	保健予防課の保健師	2
	保健総務課・すこやか相談所の保健師	-
	長寿政策課・あんしん長寿相談所のスタッフ	4
	児童相談所・こども・子育て安心課の相談員	-
	障害者相談支援事業所の相談員	-
	障害福祉課	-
	生活福祉課	-
	病院スタッフ	-
	居宅介護支援専門員	-
	権利擁護サポートセンター	-
	大津市社会福祉協議会	-
	その他	-
事例 の 対 象	一般	3
	アルコール	-
	思春期	-
	薬物依存	-
	発達障害	-
	パーソナリティ障害	2
	その他	1

⑤ その他講座

テ ー マ 「こころの健康づくり」
日 時 令和 7 年 5 月 26 日 対象：就労移行支援事業所利用者
参加者数：8 人

テ ー マ 「こころの健康づくり」
日 時 令和 7 年 6 月 26 日 対象：老人クラブ加入者
参加者数：11 人

テ ー マ 「こころの健康づくり」
日 時 令和 7 年 10 月 7 日 対象：団体職員
参加者数：18 人

テ ー マ 「思春期の子ども・若者への関わり～メンタルヘルスの視点から～」
日 時 令和8年1月15日 対象：学校職員
 参加者数：10人
テ ー マ 「ひとり親のメンタルヘルスケア・セミナー」
日 時 令和8年1月24日 対象：単親家庭
 参加者数：6人

(2) 家族教室、家族交流会事業（平成28年度から家族教室・家族交流会を合同で実施）

① 家族教室・家族交流会

目 的 ・病気に対する正しい知識を習得し、家族への接し方や関わり方を学ぶことで患者に適切に対応できることや家族自身の精神的な安定を図る。
 ・精神障害者を抱える患者の家族間で相互交流を深め家族の孤立を防ぐ。
対 象 大津市在住の精神疾患患者の家族

区 分	日 時	参加者数	内 容	スタッフ
第1回	令和7年9月30日 14:00～16:00	26人 (21家族)	講話：「生活保護制度について」 講師：大津市健康福祉部生活福祉課 居松 宏明 係長 家族交流会	保健予防課
第2回	令和7年11月27日 14:00～16:00	15人 (14家族)	講話：「相談員（精神保健福祉士）の役割と ご本人・ご家族への支援について」 講師：滋賀里病院 一圓 義子 相談員 家族交流会	保健予防課
第3回	令和8年1月15日 14:00～16:00	16人 (13家族)	講話：「精神保健に課題を抱える人への寄り添い方について」 講師：バイオメンタルクリニック 院長 石黒 淳 医師 家族交流会	保健予防課
第4回	令和8年3月17日 14:00～16:00	18人 (17家族)	講話：「当事者の話～その寄り添いOKorNG～」 講師：湖の子会 会員 木村 吉文氏 ファシリテータ：オアシスの郷 柿田相談員 家族交流会	保健予防課

② ひきこもり家族交流会

目 的 ひきこもりケースの家族を対象に学習会及び家族交流を通じて、家族がひきこもりの状態を理解し、日ごろの対応を見直せる機会とする。
 また、社会資源などの情報を得て対応能力の向上を図る。
対 象 大津市に在住する概ね高校生以上のひきこもりの状態で悩んでいる方の家族。
 (38家族)

区 分	日 時	参加者数	内 容	スタッフ
第1回	令和7年8月28日 14:00～16:00	14人 (13家族)	講話：「ひきこもりと発達障害の理解に向けて」 講師：滋賀県立精神保健福祉センター 清水光恵氏 家族交流・意見交換	保健 予防課
第2回	令和7年11月7日 14:00～16:00	15人 (14家族)	講話：「ひきこもり当事者の体験談」 講師：一般社団法人セレンディップ 事業所利用者 家族交流・意見交換	保健 予防課
第3回	令和7年12月15日 14:00～15:30	8人 (6家族)	家族交流・意見交換	保健 予防課
第4回	令和8年2月10日 13:30～16:00	7人 (5家族 支援者2人)	講話：「ひきこもり支援について学ぼうーひきこもり支援ハンドブックに基づく実践とはー」 講師：大阪経済大学 人間科学部 准教授 岩田光宏氏	保健 予防課

(3) 従事者研修会

①事例検討会

日 時	令和7年8月18日(月) 14:00～16:00
場 所	大津市保健所 大会議室
内 容	「精神保健に課題がある方の支援～早期介入・支援事業の事例から学ぶ～」
講 師	大津市保健所保健予防課職員
参 加 者	32人

②精神保健福祉従事者研修会

日 時	令和8年1月16日(金) 14:00～16:00
場 所	ふれあいプラザ5階 大会議室
内 容	「リカバリーを支える支援とは ～当事者の経験から私たちにできることを考える～」
講 師	ピアサポート WISH、地域生活支援センターオアシスの郷 所長 小林邦江氏
参 加 者	18人

③地域包括ケア研修会

日 時	令和8年3月16日(月) 13:30～16:30
場 所	大津市保健所 大会議室
内 容	「当事者の語り『それでも砂漠に水をまく』 ～障害者を理解する、障害者を支援するための一助として～」
講 師	高見啓由氏(枚方市社会福祉協議会、就労継続支援B型ごりき工房)
参 加 者	33人

(4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく申請、通報、鑑定状況

本法に基づく警察機関等からの通報等においては、精神障害者又はその疑いがある者について、ただちに入院をさせなければ精神障害のために自身を傷つけ、又は他人を害するおそれがある場合、その者に指定医の診察を受けさせなければならないことから、当該通報等があった場合、本市は滋賀県への経由事務を行っている。

① 申請・通知状況

(単位: 件)

区分		大津市	市外	計
性別	男	54	-	54
	女	21	-	21
	不明	2	-	2
	計	77	-	77
申請・通報状況	家族	-	-	-
	本人	-	-	-
	住民・職場	-	-	-
	保健福祉医療関係者	-	-	-
	救急隊	-	-	-
	警察	56	-	56
	検察官	1	-	1
	矯正施設の長	20	-	20
	知事	-	-	-
	計	77	-	77

② 調査状況

(単位：件)

区分	申請			通報			計
	22 条	23 条	24 条	25 条	26 条	26 条の 2	
実件数	-	56	-	-	21	-	77
調査件数	-	56	-	-	21	-	77
診察件数 (27 条)	-	47	-	-	-	-	47
緊急措置入院数 (29 条の 2)	-	30	-	-	-	-	30

③ 診察状況

(単位：件)

要措置	36
措置不要	11
計	47

(5) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく措置入院の年次推移及び状況

(単位：件)

年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
滋賀県	82	93	70	88	94	104	77	94
大津市	23	27	25	35	43	31	36	36

(6) 医療保護入院の入院届、退院届、定期病状報告

(単位：件)

年度	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
入院届	468	508	477	535	465	433	449
退院届	465	492	509	525	530	514	451
定期病状報告	225	233	213	206	192	-	-
更新届	-	-	-	-	-	196	335

＊令和 6 年 4 月 1 日から医療保護入院の期間が法定化されたことより、令和 6 年 4 月 1 日より定期病状報告は廃止され、それに代わるものとして「入院期間更新届」が新たに作成されている。

(7) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが地域の一員として安心して自分らしく暮らすことができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加、地域の助け合い、普及啓発が包括的に確保された仕組み・体制づくりに取り組んでいる。

令和 4 年度からは精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業補助金を活用している。

事業名	内 容
精神保健医療福祉体制の整備	・大津市精神保健福祉に関する早期介入・支援事業運営会議（協議の場合） - 第 1 回 令和 7 年 7 月 10 日 大津市保健所 大会議室 - 第 2 回 令和 8 年 1 月 29 日 大津市保健所 大会議室
普及啓発事業	・心のサポーター養成研修 - 目的：メンタルヘルスや精神疾患への正しい知識と理解を持ち、地域や職域でメンタルヘルスの課題を抱える人や家族等に対して傾聴を中心とした支援ができる人を増やす。 - 日時：令和 7 年 11 月 5 日 - 場所：大津市保健所 大会議室 - 講師：大塚 雅子氏（精神保健福祉士） - 内容：共通研修＋選択研修「こころの病気について学ぶ」 - 参加者数：55 人 ・世界メンタルヘルスデー（10 月 10 日） - 図書館にメンタルヘルスコナーを設置（9 月 26 日～10 月 29 日） - おおつ健康フェスティバルにて啓発ポケットティッシュを配布 約 300 人 ・瀬田の秋・福・祭にてこころの相談窓口一覧を配布 約 50 人

地域生活支援	・精神保健福祉に関する早期・介入支援事業（アウトリーチ事業） 目的：医療機関や各種相談機関から相談があった未受診、医療中断等の精神障害を抱える者や精神障害の疑いがある方に、支援チーム「かけはし」が介入し集中的に関わることで、適切な医療やサービスにつなぎ、地域の一員として安心して暮らせるようにする。 支援対象者数：23 人（今年度新規 8 人） 支援回数：1,460 回 ※必要時、精神保健福祉相談医師と同行訪問 （面接：19、訪問：260、同行：12、電話相談：326、手紙・メール：50 関係機関連絡：726、ケース会議：67） 事務局会議：12 回（うち 5 回は県立精神保健福祉センターが技術協力）
--------	---

（８）自殺対策

令和２年度に策定した大津市自殺対策計画に基づき、誰も自殺に追い込まれることのないまちおこの実現を目指し、下記事業に取り組んでいる。

平成 21 年度からは地域自殺対策緊急強化基金補助金、平成 27 年度からは地域自殺対策強化交付金を活用している。

事業名	内 容
各種会議	・大津市自殺対策庁内連絡会 令和 7 年 11 月 18 日 ふれあいプラザ ホール ・大津市自殺対策連絡協議会 令和 8 年 2 月 12 日 ふれあいプラザ ホール
「いのちをつなぐ相談員」派遣事業	・協力病院を受診した自殺未遂者への「いのちをつなぐ相談員」による支援 協力病院：大津赤十字病院、市立大津市民病院、滋賀医科大学医学部附属病院、JCHO 滋賀病院、琵琶湖大橋病院、大津赤十字志賀病院 支援対象者：入院患者、外来初診・通院患者 支援対象者数：314 人（今年度新規 21 人） 支援回数：3,840 回（面接 220、訪問 79、電話相談 759、関係機関連絡 1,352、ケース会議 49、SMS 1,242、その他 139） ・「いのちをつなぐ相談員」派遣事業医療連携会議 令和 7 年 7 月 30 日 大津市保健所 ・県精神保健福祉センターと保健所との支援検討会：6 回 ・協力病院での連絡会：3 回 （滋賀医科大学医学部附属病院：2/26、大津赤十字病院：2/26、市立大津市民病院：3/11）
人材養成事業	・大津市自殺対策研修会（令和 8 年 2 月 3 日） 参加者数：66 人 講話：「令和 7 年度ゲートキーパー養成講座」 場所：大津市保健所 大会議室 講師：滋賀県立精神保健福祉センター 心理判定員 長谷川 敬祐 氏
普及啓発事業	・自殺対策強化月間（令和 8 年 3 月 1 日～31 日） 図書館、東レ、関西電力、成安造形大学で連絡先や相談先が記載されたポケットティッシュを配布（図書館では関連書籍コーナーも設置し、成安造形大学では新入生の健康診断に時期を合わせる） ・自殺予防週間街頭啓発（令和 7 年 9 月 10 日） 大津駅前にて啓発ポケットティッシュの配布 約 1,000 人

(9) 依存症対策

平成 30 年にギャンブル等依存症対策基本法が施行され、全国の保健所が依存症の相談窓口を担っている。大津市保健所においても、依存症の相談啓発に取り組んでいる。

① 依存症相談件数（訪問、面談、電話およびメール等）

	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	合計
令和 5 年度	174	24	6	3	207
令和 6 年度	222	49	21	2	294
令和 7 年度	255	62	87	7	411

② 普及啓発活動

・アルコール講座

市民に対し、飲酒に関わる様々な問題やアルコール健康被害に関する知識の普及と啓発を目的として、アルコール講座を開催した。

日 時 令和 7 年 10 月 7 日（火）14：00～16：00
場 所 ふれあいプラザ 視聴覚室
講 演 ～あなたも私も大丈夫？～「考えてみよう、お酒との付き合い方」
講 師 依存症専門外来・安東医院 松浦 千恵 精神保健福祉士
参加者数 20 人

※講義内容の動画配信を令和 7 年 11 月 1 日（土）～11 月 30 日（日）の期間に行った。
視聴回数 54 回

・アルコール関連問題啓発週間

市民に対し、アルコール関連問題に関する知識の普及と啓発を目的として、厚生労働省のアルコール関連問題啓発週間に合わせて大津市立図書館内に特設コーナーを設置。（チラシの配置およびポスター等の掲示）

日 時 令和 7 年 10 月 31 日（金）～令和 7 年 11 月 16 日（日）
場 所 大津市立図書館内

・ギャンブル等依存症問題啓発週間

市民に対し、ギャンブル等依存症問題に関する知識の普及と啓発を目的として、厚生労働省のギャンブル等依存症問題啓発週間に合わせて特設コーナーを設置。（チラシの配置およびポスター等の掲示）

日 時 令和 7 年 5 月 14 日（水）～令和 7 年 5 月 20 日（火）
場 所 大津市保健所入口前

8 健康被害

(1) 原子爆弾被爆者状況

「原子爆弾被害者に対する援護に関する法律」に基づく医療費の給付、各種手当の支給に関する申請窓口事務、健康診断、被爆二世に対する健診案内、訪問介護費用の公費負担申請窓口事務を実施している。

① 被爆者健康手帳交付状況・各種手当受給者状況（令和8年3月31日現在）

（単位：件）

	件数
被爆者健康手帳交付者数	74
健康診断受診者証交付者数	5
医療特別手当受給者数	4
特別手当受給者数	3
原子爆弾小頭症手当受給者数	-
健康管理手当受給者数	44
保健手当受給者数	6
保健手当（増額分）	-
介護手当受給者数	-

② 被爆者健康手帳所持者数年次別推移

（単位：件）

年度	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
大津市	128	122	118	108	98	91	86	80	74
滋賀県	311	291	276	256	240	226	214	200	186

(2) 原子爆弾被爆者定期健康診断実施状況（単位：人）

	1 回目	2 回目	3 回目
対象者数	85	84	81
受診者数	11	7	7
受診率	12.9%	8.3%	8.6%
要精検者数	4	1	2

(3) 原子爆弾被爆者がん健康診断実施状況年次別推移

（単位：人）

年度	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
対象者数	137	127	122	111	102	94	89	81	79
受診者数	18	7	17	9	14	15	16	13	12
要精検者数	3	-	3	3	3	4	6	2	2

(4) 原子爆弾被爆者二世健康診断実施状況年次別推移

（単位：人）

年度	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
対象者数	110	125	133	131	125	127	130	131	129
申込者数	55	54	55	60	54	50	57	55	56

(5) アスベスト対策事業

アスベスト（石綿）による健康被害を受けられた方、又は、その遺族の方で、労働災害の対象とならない方に対して支給される救済給付の受付事務を実施している。

（単位：件）

年度	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
申請者数	2	-	2	-	-